

クラフト ハイイツ(KHG)

【セクター】 食品

【市場】 NASDAQ

【企業概要】

加工食品の世界的大手で、2015年に投資会社パークシャー・ハサウェイ（26.7%を保有する第1位の大株主）、3Gキャピタル（20.1%を保有する第2位の大株主）の提案で、ハイイツとクラフトが合併してできた会社です。「ハイイツ」のケチャップ、各種ソース類、スープ、「クラフト」のチーズ、「オレアイダ」の冷凍ポテト、冷凍野菜、「フィラデルフィア」のクリームチーズ、「オスカー・マイヤー」の食肉、ソーセージ、「マックスウェル・ハウス」のコーヒー、「ジェロ」のデザートなどを擁します。米国売上が69%、海外売上が31%を占めます（18年）。

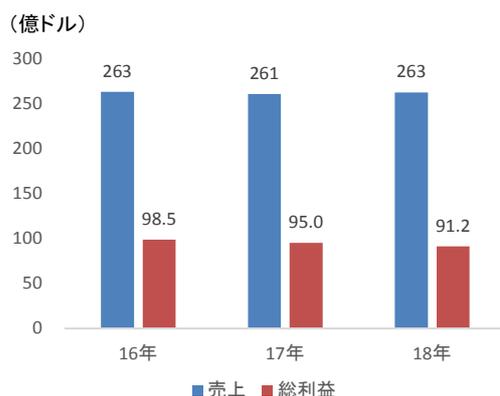
【業績】（単位：売上、純利益は百万ドル、EPS、DPS、BPSはドル、ROE、自己資本比率は%）

決算期	売上高	純利益	EPS	DPS	BPS	ROE	自己資本比率
17年12月期	26,076	4,330	3.53	2.45	54.0	7.0	55.0
18年12月期	26,268	4,299	3.53	2.50	42.3	7.3	50.0
19年12月期予想	25,201	3,137	2.62	1.60	42.8	5.7	-

※EPS：1株当たり利益、DPS：1株当たり配当、BPS：1株当たり純資産、ROE：株主資本利益率（出所）BloombergデータよりSBI証券が作成

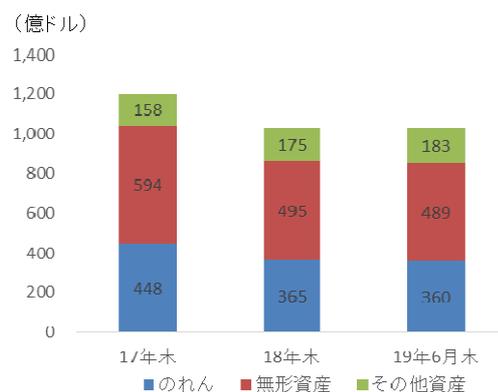
【主要指標】

図表1 売上と総利益の推移



(出所) BloombergデータよりSBI証券が作成

図表2 資産の大部分を占める「のれん」と「無形資産」



(出所) BloombergデータよりSBI証券が作成

【会社の見方】

売上の伸びが低迷して18年12月期に、米国の冷凍食品やカナダの小売、ブランドでは「クラフト」「オスカー・マイヤー」などで154億ドルにのぼる減損損失を計上してGAAP（一般に認められた会計原則）ベースの純利益は101億ドルの赤字に転落しました。19年12月期上半期も前年同期比で減収・減益となりました。持続的な業績回復軌道に乗せるには、製品のイノベーション、ブランドのてこ入れ、流通網の改善などを含む広範な経営再建プランが必要になっていると見られます。

【見通し・注目点】

19年1-6月期は売上が前年同期比4.8%減でした。為替の影響がマイナス2.6%ポイント、M&Aによる影響がマイナス0.7%ポイントを含むほか、オーガニック成長率はマイナス1.5%と低調な業績が続きました。粗利益が前年同期比11%減となったほか、のれん代の償却などで12億ドルの減損損失を計上しています。GAAPベースの純利益は前年同期比51%減、一時的要因を除く調整後EPSは同24%減でした。

(SBI証券 投資情報部 榮 聡)

(更新日 19/10/9)

本資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたもので、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。万一、本資料に基づいてお客様が損害を被ったとしても当社及び情報発信元は一切その責任を負うものではありません。本資料は著作権によって保護されており、無断で転用、複製又は販売等を行うことは固く禁じます。